

事務事業名		観光施設整備事業		所属部	産業観光部	所属課	観光振興課
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>		所属G	観光振興グループ	課長名	安部哲男
	施策名	(38)観光の振興		担当者名	多根英志	電話番号	0854-40-1054
	目的	対象	意図	予算科目	会計	款	大事業
	目的	対象	意図				
基本事業名	(117)受け入れ施設の充実		大事業名	観光施設整備事業	中事業名	観光施設整備事業	
目的	対象	意図	大事業名	観光施設整備事業	中事業名	観光施設整備事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (26年度~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
道路管理者(国・県・市)の協議によりサイン整備を行う。 また、平成29年からJR西日本が運行する豪華寝台列車「瑞風」の立寄り地において、トイレ整備を行う。 更に、観光施設におけるWi-Fiスポット整備、駐車場整備、トイレ整備等を併せて実施することで、瑞風乗客に限らず観光客の利便性及び、満足度の向上を目指す。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動)	30年度計画(30年度に計画する主な活動)				
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	ア	トイレ整備工事	箇所	0	3	0	1
	イ	その他整備工事(道路、駐車場、空調、誘導サイン整備等)	箇所	7	3	5	2
	ウ	道路管理者協議(国・県)	回	5	5	5	5
	エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	観光客	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
			ア	市内観光入込客数	千人	1,483	1,530	1,389	1,480
			イ						
			ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	利便性、満足度の向上	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
			ア	トイレ整備工事	箇所	0	3	0	1
			イ	その他整備工事(道路、駐車場、空調、誘導サイン整備等)	箇所	7	3	5	1
			ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
市道机桑園線道路修繕工事3,547千円、神楽の宿空調設備工事2,170千円、観光誘導サイン整備工事(大東地内)1,134千円、河川敷通路・駐車場修繕199千円、神楽の宿駐車場修繕・イス購入等680千円・・・計7,730千円 以下繰越分(H28) 菅谷たたら山内トイレ整備工事(機械設備)6,936千円、菅谷たたら山内トイレ整備工事(建築主体)16,631千円、菅谷たたら山内トイレ整備工事(電気設備)2,374千円・・・計25,941千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円		2,000		
	地方債	千円		36,400	24,700	2,800
	その他	千円		0		
	一般財源	千円	4,204	10,885	8,971	1,150
	事業費計(A)	千円	4,204	49,285	33,671	3,950
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	189	400	400	
	人件費計(B)	千円	740	1,587	1,631	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,944	50,872	35,302	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成25年3月 松江自動車道開通 平成27年3月 中国横断自動車道全線開通 平成29年6月 JR西日本 瑞風運行開始	高速道路開通やJR西日本による瑞風運行などを見据えて、道路管理者(国・県・市)が観光サインの整備をはかってきた。観光施設整備に関しては、市役所女子職員による観光地トイレの現地調査・意見集約を行うなど、女性視点での施設整備を実施してきた。	観光地におけるトイレ整備(洋式化)等や誘導看板整備は喫緊の課題であり、観光客の満足度を大きく上下させる要因となっている。自動車道の開通や瑞風の来訪を機に、施設整備を進めることで、その他観光客も含め満足度向上を図る必要がある。

事務事業名	観光施設整備事業	所属部	産業観光部	所属課	観光振興課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設整備には多大な経費が必要であり、各観光地の現状(入込客数、地理的条件等)を鑑みて、適切な規模・内容の整備を行っていく必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	各施設の整備をやめることにより、観光客の満足度は大きく下がる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	施設整備であり、類似の他事業はない。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費の縮減及び財政負担の軽減を意識して進める必要があるが、近年の労務費・資材費については依然上昇傾向にあり事業費増大の懸念もある。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	過大な人員配置とはなっていない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	著名観光地、公共施設など不特定多数が訪れる観光地・観光施設を対象としている。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		JR瑞風の来訪地を中心に整備を行い、一定の成果を上げることが出来たが、引き続き整備が必要な観光地は数多くあり、今後も継続して行っていく必要がある。		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
道路管理者(国・県)との協議により、優先度を整理しながら計画的な整備を進める。 また、優先度を整理しながら計画的な整備を進める。	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																		